



- ①町立幼稚園・平泉保育所園児による元気な謡で開幕
- ②平泉小学校体育館の作品展示
- ③銅板加工体験でオリジナルプレートを作成
- ④町内の各老人クラブの作品を展示
- ⑤親子で一緒に昔ながらのぼたぼたおもち作り
- ⑥平泉の変遷が分かる昭和の写真展
- ⑦黄金荘コーナーでアマビエを作品展示
- ⑧町立幼稚園の教室いっぱいに飾られた園児たちの作品



日も、銅板加工でオリジナルプレート作成や、親子で昔ながらのおもち作りなど多彩なイベントが繰り広げられました。

産業まつりは「秋の平泉は楽しさいっぱい！ 地域の魅力を再発掘！」と銘打ち観自在王院跡で、商工業まつりと農業まつりが同時に開催され、小中学生による達谷窟毘沙門神楽で幕を開けました。

会場では、町内の農業団体や商工業者が多数出店し、新米やリンゴなど町内で採れた旬の農産物や加工品などを販売。気仙沼市のホルモン焼きや浜焼きコーナーも並びました。

また恒例のいわて南牛も肉丸焼きの無料提供、ワンコインのいわて南牛丼の販売、弁慶力餅競技保存会による振る舞い餅などには長蛇の列ができ、会場内は多くのイベントで盛り上がりました。

特設ステージとその周辺では、長島保育所の太鼓やオーケストラの演奏、チャリデザイン、J.A農家組合員らによる演芸など多彩な演目が披露されました。

会場を訪れた人たちは、秋晴れとなった空の下、平泉の食や地域の魅力を体感し、実りの秋を満喫しました。

第47回ひらいずみ芸術文化祭が10月31日、11月1日の両日、第47回ひらいずみ産業まつりは11月1日に開催され、会場は多くの来場者でにぎわいました。

「送ろうエール、感性きらめく芸術にのせて」をテーマに平泉小学校・町立幼稚園で開催された芸術文化祭は、町立幼稚園、平泉保育所5歳児による謡で幕を開け、元気いっぱいな声が会場全体に響いていました。

平泉小学校体育館には、町民や園児、児童や生徒が丹精込めて作り上げた作品などが多数展示され、訪れた人の目を楽しませていました。

10月31日には、町立幼稚園園舎ホールで「[takataka.]」によるコンサートや「オンサンデイズ」などによる絵本の読み聞かせなどを開催しました。11月1

ひらいずみの 秋 を楽しむ

芸術文化祭 & 産業まつり



- ⑨長島保育所の太鼓演奏
- ⑩たくさんの来場者でにぎわった会場
- ⑪一関市民オーケストラ「Mカルテット」による演奏
- ⑫上平泉農家組合がソーラン節を披露
- ⑬館岡農家組合が舞いを披露
- ⑭弁慶力餅競技の体験と応援するゆるキャラたち
- ⑮弁慶力餅競技保存会による餅つき
- ⑯郷土芸能学習体験講座を受講する小中学生が達谷窟毘沙門神楽を披露

